



AJU 愛実

第31号 会報

編集：特定非営利活動法人愛実の会

- ・愛実の会事務所
- ・居宅介護事業所あみ
- ・生活介護事業所障がい者デイセンター愛実
(大地の家／愛実友だちの家／紙風船)

定価：一部100円

「友だちとおしゃべり」／島しづ子	・ ・ ・ ・ ・	P1
事務より	・ ・ ・ ・ ・	P2
大地の家のページ	・ ・ ・ ・ ・	P3～4
紙風船のページ	・ ・ ・ ・ ・	P5～7
「言葉にすると泣けちゃう」／南 寿樹	・ ・ ・ ・ ・	P8
寄付者名簿	・ ・ ・ ・ ・	P9
事務より	・ ・ ・ ・ ・	P10～11



大地の家

デイで
まったりティータイム

紙風船

アシスタント
を送る会



友だちとのおしゃべり

理事長 島 しづ子

毎月、「福舎の会」と称して「愛実の会」創立時からのお母さんがたと集まっておしゃべりしています。ちょっと小難しく言えば「互いの苦労の日々のわかちあい」です。有志の会なので総勢でも10人足らずですが、それぞれ都合がつかない月もあって参加者が半分という月もあります。先々月は私も含めて4人でしたので、中止しようか、美味しいもの食べに行こうか、と迷いましたが、ある方が「私たちにはおしゃべりが一番だから、いつも通りしましょう!」という意見で、ショートステイの家「五番町」でいつも通りしました。よく話す、話す。「あっ」という間に時間は過ぎました。長年付き合っていると飾ることもなくお互いの日常の様子を聴きあって、ちょっと息抜きが出来ます。

話を順番に聞きあう。誰かが話しているときは黙って聞く。説教したり意見を言わない。という「わかちあい」は、いろいろな依存症の自助グループで使われている手法です。アルコール依存症の人たちが苦労の末に編み出したこの手法は、私たちの日常でも有効な手法だと思っています。何でも話していい、という安全な場所は日常的にはなかなかありません。お母さんたちはおしゃべりは得意ですが（失礼）人の話を聴くのは苦手で、誰かが話していると介入しようしたり、自分の話に持っていこうとするので、私が「ちょっと待った!今はIさんの時間です。聞いてください!」ってストップします。「気持ちを聞いてもらう」、そんな深いことでなくても「ああした、こんなことがあった。」そう話しながら、自分の気持ちを整理していく時間こそ、ストレスの多い私たちには大事な時間です。

ですから、愛実の会の運営会や各部署の会議などでも、「わかちあい」を行ってからをはじめてくださいと提案していますが、私がいないと省略するみたいで残念です。これを省略していくと、お互いが疑心暗鬼になったり、はては話もしたくない、顔も見たくないという事態が起こってきます。仕事なんだから気持ちを聴きあうなんて関係ないと思われそうですが、私たちは思った以上に感情に支配された存在なので、気持ちをそっと話すことで互いの信頼関係を深い意識しないところで育むことができると思います。

年に2回ほど、年上の友人Mさんと友人のお墓参りをします。亡くなった友人Oさんは愛実の会の創立時から支えてくださった方でした。Oさんは生前「Mさんは友だちがいないから、私が死んだらひとりぼっちでどうするのかしら。」と私によく言っていました。Oさんはホスピスで大事に見守られて亡くなり、私がOさんの思い出話をする相手はMさんだけになりました。Mさんをお墓参りにお誘いし、Oさんの思い出を語り合います。芙蓉の花が咲くと、芙蓉の花が大好きだったOさんのことを思い出し、この思い出を話す相手がいるって嬉しいなあと思います。

メンバーや援助される方々が一番望んでいるのも、自分の気持ちを誰かに平らな気持ちで聞いてもらうということだろうなあ、って思います。



事務所より

ボランティア終了のお知らせ

愛実の会草創期から月に1度の昼食作りにご協力をいただいております、ルーテル復活教会の皆さんの愛実の会でのボランティア活動が、4月の活動を以て終了いたしました。

暑い時も寒い時も毎月欠かさずお越しいただき、美味しい食事だけではなく、皆さんの明るい笑顔と楽しいお話を届けていただきました。

普段の活動の中では、外部の方々と接する機会が少ない私たちにとって、月に1度定期的にお越しいただけたのは、大変貴重な機会だったと感じています。

また、クリスマスの時期にはメンバーやアシスタント一人ひとりに名前入りの手作りのクリスマスカードを頂戴することもあり、皆さんの優しさに触れることができました。

今後はこれまでのように定期的にお越しいただくことは叶いませんが、これまでとはまた違った形で関わりを持たせていただけると嬉しく思います。

これまでの多大なご協力に感謝するとともに、皆様のご健勝をお祈りいたします。



4. 29法人全体研修会

4月29日(水)昭和の日に、毎年恒例となっている法人全体研修会を行いました。

今年は、日本福祉大学福祉経営学部長の綿祐二さんをお迎えして、「これからの障がい者支援のあり方～普段の支援の振り返り：命題的理念と実践的理念の融合～」というテーマのもとで学びを深めました。

綿先生には一昨年からの講師の依頼をさせていただき、昨年度は多忙のため実現しませんでした。今年度はようやく愛実の会にお越しいただくことができました。

今も福祉の現場に入りつつ、大学でも教鞭をとり、更には社会福祉法人の理事長もお務めとのことで、多くの経験や体験をもとに飽くことの無いお話をしていただきました。

当日は、日ごろメンバーの直接支援に当たる支援員のアシスタントや、間接支援に当たる事務職、調理員、運転手の参加もあり、大いににぎわいました。

支援の方針やニーズについて考えたときに、当事者、家族、支援者それぞれの価値観が一人ひとり違う中で、福祉専門職としてどのように落とし所を作っていくかなどということ、事例をもとに合理的配慮・ニーズの整理・自己決定というキーワードを基にして考えを深めました。

また、リアルニーズの捉え方についてもお話を聞くことができ、今後の実践の中で十分に生かされるのではないかと感じています。

こうした研修を重ねることで、愛実の会のケアの質の向上と、アシスタントの底力の向上につながっていくことと期待しています。





大地の家のページ

(P 3~4)

今年もそろそろ暑い夏の季節です。みなさまもお変わりなくお過ごしでしょうか？
大地のメンバー&アシスタントは毎日元気いっぱいです！

大地の家では昨年度末に、女性チームと男性チームに分かれて、「女子会」「男子会」と称して別々の場所にお出かけしてきました。

ランチでバイキングを楽しんだり、女子力を磨きにエステをしたり、手作りコースターを作ったり・・・。

そして毎年恒例になりつつある「春のバーベキュー」の様子もお伝えします♪

女子会

3月2日(月)、女性メンバー5名は、熱田イオンヘランチビュッフェとエステの女子会を満喫してきました。

まずはレストランでお腹を満たします。ビュッフェ式のレストランでは、各自好きな物を好きなだけ食べました。食べることが大好きなメンバー達は、普段の昼食よりも沢山食べ、デザートまでしっかり堪能しました。

ランチの後は、本日のメインイベント「エステ」で女子力をみがきます。ちなみに今回で女子会でのエステは三回目！メンバーも余裕の表情でした。

蒸気を顔に当てながらクレンジングをした後は、事前に聞いておいたコースに分かれてエステをしていきます。

毛穴の汚れ取りや古い角質を取り除くピーリング、お肌に最適な高級パックなど、自分に合ったメニューを選んだメンバー達は、気持ち良さそうにエステを楽しんでいました。

最初は何が起きているのか戸惑っていたメンバーも、3回目ともなると慣れた様子で、エステ台に乗るだけでニッコリ笑顔に。

エステティシャンの方に顔をマッサージしてもらうと気持ち良いあまり思わずウトウト夢心地です・・・。

エステが終わると肌はモチモチピカピカ！エステ前と比べると明らかに綺麗になった姿にメンバーも大満足でした。



男子会

3月2日(月)、女性チームと分かれた男性チームは、常滑のセントレアとINAXギャラリーで男子会です。

昼食はセントレアホテルのレストラン「コスモス」のランチバイキングへ行きました。



ランチバイキングなので好きな物を好きなだけおかわり自由！メンバー達は2回、3回とおかわりし、もちろんデザートもしっかり食べました。

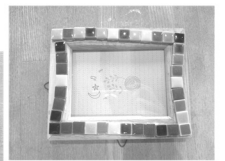
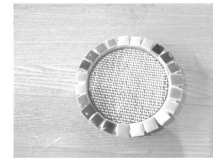
食事をゆっくり楽しんだ後は、セントレア本館で展示物を見て触ったり、スカイデッキに出て飛行機を見たりしました。天気も良く、迫力満点な飛行機にメンバー達は、驚きながらも嬉しそうに笑っていました。

セントレアを後にすると、今回男子会のメインイベント、IN A Xギャラリーでの「タイル工作体験」です。

色とりどりの細かいタイルを使い、フォトフレームやマグネット、コースターなどを思い思いに作っていきます。どうやって作るのか、丁寧な説明を受けると早速、工作活動のスタートです！

どの色を使ってどんなデザインにしていけるかメンバーとアシスタントで相談しながら作りました。出来上がったものは、世界にひとつしかない自分だけの作品です。完成したものを、メンバー達も満足そうに見つめていました。

のんびりまったり、年に一度の男子会を楽しみました。



イエローレシート



毎月11日は黄色いレシートキャンペーン！
集めたレシートの金額1%がイオンより寄付されます。
大地の家は昨年度よりイオン茶屋店で活動に参加しています。
昨年度は76,200円もの金額が集まりました！
ご協力して下さった皆様、ありがとうございます。

集まったお金でラジカセや電気ポット、休憩用の布団など、普段で使う日用品を補充することができました。

キャンペーン中は、メンバー達もそれぞれレジの出口付近に立ち、出来る限りの声で黄色いレシート集めを呼び掛けています。立ち止まってレシートを入れてくれたお客さんにはニコリと笑顔で感謝の気持ちを伝えています。

これからも、大地の家ではイエローレシートキャンペーンに力を注いでいきますので、応援とご協力をおねがいします！



日々の活動の様子など随時更新中です♪
大地の家のブログ <http://ameblo.jp/daichi-no-ie/>

紙風船のページ

(P5~7)

2015年度がスタートし、紙風船にも新しい風がさわやかに入ってきました。
皆さん、今年度も紙風船をよろしくお願い致します！

～2015年度紙風船テーマ～

1. 楽しく元気に出かけよう！ 2. ふれあいつながり大切に 3. 心からの笑顔を上げよう！

今年度は、紙風船をもっともっと知ってもらうためにどんどん外へ出かけていってメンバーの思いやたくさんの笑顔を多くの皆さんに届けていきたいという希望を込めたテーマをみんなで考えました。

在日米国商工会議所（中部支部）主催・名古屋国際学園共催 第24回ウォーカソン（国際チャリティフェスティバル）参加 in モリコロパーク

☆今回はブースを出しての参加をさせていただきました。
グッズ販売やオリジナルマグネット作りを体験してもらうなど
お客様とのふれあいを大切に、楽しく紙風船をアピールすることのできたウォーカソンでした！



OS☆Uのメンバーと
ハイ☆ポーズ！！

☆南山高校・椋山女学園大学のボランティアさん、そしてウォーカソンで出会えたたくさんの方々、
ありがとうございました。
また来年もよろしくお願い致します！





レクリエーション



今年度のレクリエーションは、小グループで少し遠出もしてみようと計画しています。メンバーそれぞれの選択に個性があって楽しいレクになることと思います。さっそく5月に2グループがお出かけしてきました！

5月14日
トヨタ博物館へ！

日本の”クルマ”の歴史や、時代の流行に比例したような様々な自動車を見ることができました。

まずはレストランで腹ごしらえ♪



みんなでランチ♪
楽しい〜〜(〇)

珍しい自動車の前で！



見学ツアーにも参加！



ガイドさん
可愛かったね！

5月30日
アクアイグニスへ！

お天気にも恵まれ、山々に囲まれた大自然の中で有名パティシエの美味しいスイーツを満喫してきました♪ お土産選びも楽しかったです！

スイーツ男子！



スイーツに囲まれて
シアワセ〜♪



☆フェイスブック・ツイッター始めました☆

F B : www.facebook.com/ami.kamifuusen

T w : @kamifuusen

アクセスお待ちしております！！

【公演だよ!】

第195回 5月31日(日) 第3回アートとともにやさしい社会づくり

アートがつなぐ人形劇「ボーちゃん」 豊明市文化会館小ホール

公演 予定

6月10日(水)からたけ保育園「ポンタとたっくん」

7月14日(火)大府の郷「かめさんのありがとう」ボラ公演

7月25日(土)愛実の会地域ふれあいまつり「かめさんのありがとう」

8月22日(土)北なごやパペットフェスタ 「ボーちゃん」

9月13日(日)新瑞福社会50周年同窓会 茶源ホール「ぼくたちにできること」

2015年度 初!公演

5月31日に、今年度初めての公演「ボーちゃん」を行いました。今回、公演デビューのメンバーが2名とアシスタントが2名いました。大きな会場で良い緊張感の中、みんなそれぞれの力を発揮してくれました。公演後半には、マイクや音響の音が出なくなるハプニングがありましたが、大きな声で最後まで

演じきりしっかり挨拶できました。テーマソング「風をください」もマイクなしの生声で歌い、会場にいるお客さんに私たちの思いが伝わり大きな拍手を頂きました。皆さんに喜んでもらえて本当に良かったです。

今年度も新たな体制でたくさんの人に夢と希望と笑顔を伝えていきます。どうぞ応援よろしくお願いします!



公演依頼 募集中!!

公演依頼を募集しています!
興味がある方は是非ご連絡ください♪

1公演2万円~3万円(ご相談に応じます)

各地域のイベント、学校での文化祭・福祉教育など目的に合わせたプログラムを組むことができます。

子どもから大人の方までみなさんとふれあい、心に残る楽しい公演を目指しています。

待ってまーす☆

※詳しくは「人形劇団 紙風船」HPまで

「言葉にすると泣けちゃう」

南 寿樹

ありさ（小2）は集団が苦手だった。集団の中では、ほとんどしゃべらないと言われていた。転校前の小学校では指導員がついて二人だけで活動していたという。学校になじめず、不登校になった。だが家でお母さんは、兄（重度の自閉症）の対応に追われ、受け止められない状態だった。それで、あいち小児保健医療総合センターに入院することになった。私の勤める愛知県立大府特別支援学校はその隣りにあり、ありさのような子や手術前後の子が、渡り廊下を通して通学してくる。

私との初めての体育の授業。「出席をとります。ありささん」「・・・」「ありささんはいますか?」「・・・」ありさは右手を軽く挙げるだけで、声は出さない。（やはり緊張しているのだろう）体育の授業は「カローリング」というニュースポーツ。これは氷上の「カーリング」の室内版で、コロのついたものを的に向かって転がす競技だ。ありさ以外の子は運動制限があったり、力も弱かったりして、うまく転がせない。（力のあるありさなら、活躍できるかもしれない）私は監督として、ありさをチーム（4人1組）の4番目に投げさせることにした。予想通りうまくいった。偶然もあったが、ありさのおかげで連勝した。「ありさちゃん、すごいね」「やったー、また勝っちゃったね」チームメイトから喜びの声が上がる。だが、ありさの反応が弱く、笑わない。それでも「これってすごい?」と小さな声で私に聞く。「そうだよ。みんな喜んでいよ」と言うと「ふーん」と言うだけだった。

ありさは少しずつ友だちの中に入っていった。彼女のクラスは学校の中では珍しく、自宅通学生（親の送迎）がほとんどで、無邪気だが落ち着いた子たちばかりだ。「ありさちゃんこれあげる」と折り紙でつくったものをあげたり「ありさちゃん、ゲームしよう」と誘ってくれたり、自然に接してくれる。ありさに少しずつ笑顔が見られるようになった。しかし1ヶ月たって退院、つまり元の小学校に戻っていくことになった。

お別れ会の時、友だちから「1ヶ月という短い間だったけど、楽しかったです」「向こうの学校に行っても、がんばってください」「元気で勉強がんばってね」との言葉が続く。担任が「次はありさちゃんからのことば」と言う。すると「いや」とありさは首を横に振る。みんなの顔が曇り、場がシラーとした空気に包まれる・・・担任が「じゃあ、やめとく?」と言う。ありさはうつむいて小さな声で言った。「言葉にすると泣けちゃう」・・・隣にいた私が「たくさん思い出ができたんだね」と声をかけた。そのとたん、ありさはワーっと声をあげて泣き、机に伏せた。肩が震えている。みんなにも、ありさの思いが十分に伝わった。

（自分の思いに反しての入院、転校の不安の日々・・・でも、みんなとのかけがえの思い出もできた。みんな、ありがとうー）私は涙をこらえられずに一緒に泣いた。

渡り廊下での別れ際、ありさは私にポケットから「これあげる」と折り紙の小さな花をくれた。



2014年度 法人事業報告

愛実の会は当法人の理念にのっとり、重度の障がいのあるメンバーのサポートに力を入れて、彼らが安心して充実した地域生活を継続的に送ることが出来るよう、他の団体と協力しながらより良いサポートを目指し下記の3つの事業に取り組んでいます。

・障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業＝生活介護事業「障がい者デイセンター愛実」&居宅介護事業所あみ（ホームヘルプ）

・障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく地域生活支援事業＝移動支援事業（ガイドヘルプ）※2014年度は実績なし

・既存の法律の範囲で対応することが困難なケースとして、利用者の生活上必要なニーズ及び緊急時に対応する為の有料サービスとしての法人独自サービス事業（2014年度＝23件）

生活介護では、30名のメンバーが大地の家（17名）・紙風船（13名）の2部門に分かれてそれぞれの特色ある活動を楽しみながら1年を無事過ごすことが出来ました。詳細については随時、会報・ホームページ・ブログ等にて報告させて頂いておりです。

居宅介護事業につきましては、他事業所との協力もあり実績は減っていますがこれまでの地域生活を維持継続できるようサービスの提供に心がけてきました。一方、緊急時対応の必要性に応じて独自サービスの利用も充実できたと思います。そして年々、ご家族の方の高齢化に伴い将来への対応についてみんなで考えていくことが大きな課題となっています。

★2015年度総会報告（正会員数50名：2015年5月23日現在）

議案Ⅰ 2014年度事業報告（決算及び監査報告）

①法人概況 ②生活介護（大地の家・紙風船）

③居宅介護 ④各管理部門（健康・給食・車両・防火防災・ホームページ・会報）

議案Ⅱ 2015年度事業計画及び予算案

2014年度の会計は、当初予算より約170万増の決算となり移転改装時の借入金(700万)も計画通り返済することが出来ました。また、新しくリフト車を購入したことで送迎及び外出プログラムが活性化されることを期待しています。会計監査を受け右の通り決算のご報告をさせていただきました。尚、総会議案はすべて滞りなく審議され承認されました。皆様のご協力を心より感謝申し上げます。

2014年度 NPO法人愛実の会 決算報告 (活動計算書)

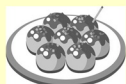
平成26年4月1日～平成27年3月31日まで

科 目		金 額		単位:円
I 経常収益				
1. 正会員費	171,300	171,300		
2. 寄附金	2,736,637	2,736,637		
3. 事業収益				
1)生活介護事業収益	105,028,586			
生活介護事業	102,186,857			
食事収入	2,486,750			
就労支援事業収入	354,979			
2)居宅介護事業収益	3,879,937			
3)独自サービス事業収益	37,500	108,946,023		
4. その他収益				
受取利息	6,061			
雑収益	652,940	659,001		
経常収益計				112,512,961
II 経常費用				
1. 事業費				
1)人件費	69,852,569			
2)その他経費				
諸謝金	958,800			
印刷製本費	81,065			
会議費	12,266			
旅費交通費	2,814,445			
通信運搬費	324,649			
消耗品費	1,361,784			
水道光熱費	2,059,478			
賃借料	6,423,955			
減価償却費	3,339,833			
保険料	1,717,190			
保健衛生費	412,851			
リース料	1,982,448			
給食費	2,482,398			
教養娯楽費	1,270,997			
就労支援事業費	410,280			
その他事業費	5,893,489			
雑費	8,647			
その他経費計	31,554,575			
事業費計		101,407,144		
2. 管理費				
1)人件費	2,600,000			
2)その他経費	584,526			
管理費計		3,184,526		
経常費用計				104,591,670
当期経常増減額				7,921,291
法人税、住民税及び事業税				218,100
当期正味財産増減額				7,703,191
前期繰越正味財産額				45,618,089
次期繰越正味財産額				53,321,280

イベントのお知らせ

愛実の会地域ふれあいまつり

7月25日(土) 11:00~12:30 **入場無料!**



障がい者デイセンター愛実

★ プログラム ★ たこ焼き&飲み物コーナー

11:00 ふれあい体験コーナー

・大地の家(バスボム)

・紙風船(カンバッチ)

11:45 マジックショー

紙風船人形劇「かめさんのありがとう」

12:30 終了

**すべて
無料**



★ その他 日中の活動の様子を展示したり、グッズの販売も行っています
どなたでもお気軽に来てください! 問い合わせ: 693-5897

~本場ドイツから癒しの風を~

7月30日(木) 19:00 開演

名古屋YWCAホール

古賀敦子 フルート

ゲオルギー・ロマコフ チェロ

ラドスラフ・クレック ピアノ

ベートーベン:三重奏曲ト長調

ゴッホ:3つの水彩画

J.S.バッハ:ラルゴ・マ・ノン・タント その他



チケットの申込み 島まで (090-1754-0104)

名古屋市中区新栄町2-3地下鉄「栄」東5番出口より東へ2分
入場料1500円 障がい者と付添 & 子ども無料

【NPO愛実の会 寄付者名(順不同・敬称略)

2015年3月1日～5月31日】

★寄付金

岩田 妙 神戸 一子 大渕 哲也 伊藤 和子 西口 和代 中谷 塩子
 細川 拓 阿部 健二 伊藤 和昭 加藤 和子 山崎 京子 石田 利彦
 木村 純 島 しづ子 水野 享好 大野 智恵 早川 教示
 八木 隆太郎 早川 久美子 伊藤 あつ子 河村 比佐子 尾島 夫規子
 川口 いづみ 榎本 久美江 青山 志津子 安藤 眞知子
 (学) 福井栄冠学園 西尾教会 婦人会 (学) 金城学院 刈谷教会 C S
 愛知教会 女性の会

★紙風船 夢づくり

五十嵐 和夫 中森 由哉(複数回) 潮田 則行 大野 智恵

★物品寄付

小松 康宏 鈴木 顕造

【任意団体「障がい者・友だちの会・愛実」受付分(順不同・敬称略)】

脇田 純子 渡井 秀雄 青本 光子 吉谷 尚之(複数回)
 中森 由哉(複数回) 松下 智恵子(複数回)

ご協力 ありがとうございました

NPO法人愛実の会 寄付金のお願い

目標額 420万円

①駐車場カーポート増設工事のため

現在、デイセンター愛実の前には1台分のみカーポートがあり、雨天時は送迎車(8台)が順番にカーポートを利用してリフトの乗り降りを行っています。また、駐車場もリフトを降ろすと車道にはみ出してしまうため、安全対策のためスペースの拡張を計画しています。

(見積り額450万円：赤い羽根共同募金より一部助成あり)

②移転改装費借入返済 2015年度 返済予定650万円

(残金1500万円：3年で完済予定)

③人形劇団紙風船の夢づくりのために(20万円)

2015年度は秋までにすでに10公演が予定されています。詳しくはホームページをご覧下さい。また、人形劇だけでなく様々なイベントに参加して夢と希望と笑顔を広げ、多くの方々へ発信していくためにどうぞご協力下さい。

【ボランティアで協力いただいた方】

高木 章一様（紙風船ボランティア）

ご協力をありがとうございます

【退職・正職アシスタント】

□林 智恵

12年間、紙風船で働かれ、6月の出産準備のために退職されました。長い間のお働きに感謝し、これからの新しい生活での活躍をお祈りいたします。

【新人・正職アシスタント】

□坪井 美紗代（紙風船）

4月から正職として紙風船に入りました。人形劇は初めてですが、皆さんと一緒に楽しんで取り組みたいと思います。よろしくお願いします。

□森脇 りな（大地の家）

4月より正職で大地の家にお世話になっています。まだまだ未熟で先輩方には沢山ご迷惑をかけていますが、楽しく頑張って仕事をしていきたいです。これからどうぞよろしくお願いいたします。

【新人・アルバイト】

□角田 共生（紙風船）

週1回という少ない回数ですが、アルバイトとして紙風船で働いています。たくさんの笑顔と元気をメンバーの皆さんからもらっています。よろしくお願いします。

【所在地・連絡先】

特定非営利活動（NPO）法人 愛実の会

- 居宅介護事業所あみ（ホームヘルプ）
- 障がい者デイセンター愛実（生活介護）

〒455-0021 名古屋市港区木場町9番24

TEL: 052-693-5897 FAX: 052-691-7889

E-mail info@aminokai.com

ホームページ http://www.aminokai.com

【「NPO愛実の会」寄付金のお願い】

郵便振替 □座番号 00850-6-187490

□座名称 特定非営利活動法人 愛実の会

1□1,000円 何□でも結構です

- ◆ 寄付金（賛助会費・土地建物取得費用・その他NPO愛実の会の活動に関する費用）
- ◆ 紙風船夢づくり（人形制作費、公演活動に関する費用とする）